

しあわせ

H a p p i n e s s

vol.518

2017年1月



謹んで新春の
ご挨拶を申し上げます



法律相談

労働相談

暮らし相談

子育て

多重債務

●ひとりで悩んでいませんか?

暮らし何でも無料相談

ちばライフサポートセンター

☎ 0120-53-4141



2017年 年頭挨拶

すべての勤労市民と その家族の幸福をめざして!

(一社)千葉県労働者福祉協議会 会長 黒河 悟

新年明けましておめでとござい
ます。年頭に当たり千葉県労働者福
祉協議会を代表して新年のご挨拶を
申し上げます。

さて、千葉県労働者福祉協議会は
一般社団法人に移行して3年目の活
動に入っていますが、移行第1回の
定時総会で決定した「今後の労働者
福祉運動のあり方について」に沿っ
てこの間一つひとつ取り組みを積み
重ねて参りました。その結果、会員
団体間の理解が深まり、また社会的
な認知が広がってきていることを実
感しております。これは、会員はも
ちろんのこと、関係者の皆様のご
協力・ご支援の賜物であり心より感
謝する次第です。私たちはここで掲
げた運動理念を改めてしっかりと胸

に刻み、会員相互の交流を促進して
友愛・連帯を深めることはもちろん
のこと、千葉県内すべての勤労市民
とその家族の幸福を希求していくた
めに、労働団体・労働福祉事業団体・
NPO組織・福祉団体・行政・有識
者等と連携・協同し「共生の福祉社
会」を実現していくことに邁進して
参りたいと思えます。

しかし、残念ながら現在の日本社
会には困難な状況が山積しておりま
す。格差と貧困が問題にされ、その解
消に向けた取り組みが、行政の側か
ら市民の側からも様々取り組まれ
ているにも関わらず状況は一向に改
善されていないどころかより深刻に
なっていると云っても過言ではあり
ません。格差と貧困の重圧は世代・

層を超えて拡大しています。生活保
護受給者の半数は高齢者です。加え
て独居者が増え、孤立も大きな課題
となっています。働き盛りの人は不
安定で低賃金の非正規雇用と長時間
労働・過労死と背中合わせの正規雇
用の間で揺れています。そして、6
人に1人と言われる子供の貧困や今
や2人に1人が300万円もの借金
を背負って社会に出ざるをえない奨
学金制度に喘ぐ若者たち。

課題は明白です。このような事態
を放っておけば社会はやがて崩壊し
てしまいます。持続可能な社会を目
指すなら、この格差・貧困の克服は
待ったなしです。今、中央労福協の
音頭で若者を苦しめている奨学金制
度改善の取り組みが進められていま

す。また、生活困窮者自立支援事業
やフードバンク・こども食堂などの
取り組みも全国各地に広がっていま
す。一つひとつの取り組みは小さく
ても各地での取り組みを繋げること
で大きな成果にしていくことが可能
です。

さらに、連合には「愛のカンパ」
活動があり、労金や全労済には基金
を使った福祉や環境・防災のNPO
への助成活動や若者や女性への支援
など幅広い社会的な支援も行われて
います。戦後何もないところから始
めた労働者自主福祉運動は、今では
組織的にも資金的にも大きな蓄積し
た力を有しています。「共助」の力を
「公助」に使いすべての勤労者とその
家族の幸せを実現する、そしてその
ためにもっと「共助」の力を強くす
る、労働組合と労働者自主福祉事業
団体(労金や全労済など)の活動が
強化される、そんな連環のできる活
動を強化していく1年に本年をして
いきたいと思えます。最後に千葉県
労働者福祉協議会に集う皆様が「と
もに運動する主体」となり頑張るこ
とを呼びかけご挨拶いたします。



地道に勤労者の生活を支えていく事を誓う

中央労働金庫千葉県本部
本部長 日 高 英 彦

新年明けましておめでとござい
ます。本年が皆様方にとりまして幸
多き年でありますようご祈念申し上
げます。昨年は「まさか」や「幾ら
なんでも」といった言葉を発してし
まうような出来事が全世界を駆け
巡った年でした。

単独の国家同士の国際連携が一気
に難しい局面に差し迫り、戦後の多
くの国が標榜してきたはずの民主主
義さえその役割に疑問が呈される状
況が生まれている事は少し前では考
えられない事でした。そして国民の
選択が大きな流れを作ることがイギ
リスやアメリカ、そして韓国でも証
明されているからこそ私たちは今ど

う考え、行動するのか問われている
と言えるでしょう。

金融の世界では「まさか」のマイ
ナス金利の導入がありました。

先行きの不透明さは極まりつつあ
ります。

国内経済は失業率の改善に期待が
持てる部分はありませんが、デフレ感
が拭えぬ息苦しさがあり予断は許さ
ない状況です。これから始まる春季
生活闘争に一層の期待が高まること
は論を待ちませんが、政府介入など
必要とせず労使の健全な自治によっ

て納得すくのが交渉結果を望みます。
そして応分の賃上げが生活を明るく
して消費に回る事が急がれます。

メガバンクや大手地銀の過熱気味
のカードローン攻勢には特段の留意
が必要であり、私たちは勤労者を支
える観点からもマイプランカードに
よるローンの借換運動を進めるなど
地道な役割発揮に汗していきたいと
考えています。

一層の飛躍をお誓い申し上げます
冒頭の挨拶とさせていただきます。
今年も宜しくお願いいたします。



全労済の理念を大切に、新たな一歩を踏み出します

全労済千葉県本部
本部長 細 根 洋

新年明けましておめでとござい
ます。旧年中は全労済運動ならびに
事業推進にご協力を頂き、あらため
てお礼申し上げます。

「今年こそは自然災害のない」とい
を願いつつ迎えた昨年も、残念なが
ら自然災害の多発した一年となりま

した。熊本県、内浦湾、鳥取県中部、
福島県沖と大きな地震が相次ぎ、更
に台風が数多く上陸し全国各地で未
曽有の被害が発生しました。中でも
台風9号は、千葉県で大きな被害が
発生しましたが、特別体制での現場
調査等も進めた結果、落ち着きを取

り戻しております。

さて、全労済が取り組む中期経営
政策「Zet Worker60」では、「事
業の回復」と「常に健全な事業基盤
の確立」を最重要目標とし、3つの
改革を進めてきましたが、9月から
千葉県本部から千葉推進本部へと名
称が変わります。あらためて簡単に
申し上げますと、現行の県本部は「職
域（労働組合と協力団体等）」を中
心に運動を進め「地域（共済シヨッ
プ等）」については現行の事業本部

が運営することになります。名称や
運営形態が変わっても、「働く者の
共済生協」としての全労済運動は変
わりありません。全労済の理念であ
る「みんなでたすけあい、豊かで安
心できる社会づくり」を目指し、組
合員の皆様方にお役立ちいただけ
よう、役員が一丸となって運動の
前進と事業推進に全力で取り組んで
いきます。本年も引き続きのご支援
ご協力をお願い申し上げます。



さまざまな組合員の 願いに寄り添う生協めざして

千葉県生活協同組合連合会
会長理事 鳥羽 治明

謹んで新年のお慶びを申し上げますと共に、旧年中に千葉県の生協に寄せられましたご支援とご協力に対し厚くお礼申し上げます。

千葉県生協連には、準会員を含めて14の生協が加入しておりますが、昨年はおかげさまで、事業・組織の両面で全体として着実に前進することができました。

特に、地域の女性が組合員になっている地域購買生協（いわゆる「コープ」）の組合員は約100万となり、県内世帯の4割を超える方にコープをご利用いただいていることになりました。

生協の基本は、商品やサービスの供給・共済・福祉などの事業活動ですが、こうした事業と合わせて、子育て支援・食の

安全・消費者問題 環境を守る取り組み・平和の取り組みなど多彩な活動がおこなわれており、こうした活動に多くの組合員が参加しています。

昨年は、住み慣れた地域で高齢者が安心して暮らせるための取り組みをはじめ、子どもをめぐる課題にも目を向けた取り組みをすすめてきました。様々な取り組みの中で、子ども・若者・子育て世代・高齢者など、それぞれの切実な願いを感じた年でもありました。世代や立場を超えた様々な課題に共通しているキーワードが、「お互いに支え合う地域づくり」で

はないか、といつとも感じております。

本年も、生協の基本である日常的な事業活動を更に発展させることと合わせて、様々な課題についても生協らしい取り組みをすすめる、世代や立場を超えた組合員の願いに寄り添う生協をめざして一層の努力を重ねていく所存です。多発する自然災害への支援、防災の取り組みと合わせて、東日本大震災の被災地、被災者に対する支援も息長く続けて参ります。

関係各位の引き続きご支援ご協力を心からお願ひして新年の挨拶とさせていただきます。



「働くことを軸とする安心社会」 の実現をめざす

連合千葉
会長 鈴木 光

新年、明けましておめでとございませす。

皆様にとって本年が希望に満ちた年でありませすようご祈念申し上げます。

日本は、少子高齢化と人口減少、特に労働力人口の減少がもたらす人手不足が顕在化するとともに、IoTの普及や人工知能の活用といった技術革新に代表されるイノベーションの進展が職場や企業、産業に変革を迫っています。

こうした状況の中で、明日への希望を

確かなものとするためには、付加価値創造の源泉である「働くこと」の価値を高め、一人ひとりの生活の維持・向上をはかること、そして、誰もが多様なニーズに応じて働き方を選ぶことができ、その働きに応じて適正な処遇がなされ、職場でも家庭でも地域でも活躍できる「包摂的な社会の構築」をいかに実現していくかが問われています。

また、日本の経済を「自立的成長」の軌道に戻さなければならず、GDPの6

割を占める個人消費を拡大するためには、すべての働く者の賃金の「底上げ・底支え」「格差是正」によって家計収入の増加を図ることが不可欠であります。

さらに、ワーク・ライフ・バランス社会の実現に向けた取り組みも重要であります。「働き方」「働かせ方」の問題を広く世の中に訴えるとともに、個別労使が労働時間管理のブラッシュアップをはかり、労働時間の上限規制とインターバル規制の導入に関わる法改正に向けて世論を盛り上げていく必要があります。

2017春季生活闘争では、この3年間に作り出してきた流れを継続し、さらに広がりを持たせていかなければなりません。このような時こそ、労働組合が

経済の自立的成長、社会の持続性を確かなものとするエンジン（原動力）として、社会の期待に応えていかなければなりません。連合は社会の不条理や格差の拡大を許さず、働く者・国民生活の底上げを図るため『底上げ・底支え』『格差是正』でクラシシソ「アゲを実現しよう！長時間労働撲滅でハッピーライフの実現を！」をスローガンに掲げ、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて果敢に取り組みませす。

連合千葉は、「社会的に価値ある運動」に柔軟性をもって挑戦し、千葉県労働者福祉協議会の皆さんと連携強化をはかりながら、本年も連合としての社会運動を着実に実践して参ります。



2017年頭挨拶

労働者福祉中央協議会

会長 神津 里季生

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、中央労福協の諸活動、とりわけ奨学金問題において多大なご協力をいただき、ありがとうございました。お陰様で、約304万筆の署名が世論のうねりをつくり、政府は給付型奨学金制度の創設に向けて動き出しました。一歩前進ではありますが、想定されている対象者や金額はあまりにも小規模と言わざるを得ません。今後の予算や法案の審議で少しでもよい内容に改善し、将来に向けて拡充していく道筋をしっかりと必要です。そのため、アピールへの賛同を広げていく取り組みや当事者の声募集に、引き続き

協力をお願いします。

この機を逃さず、みんなの力を結集し、何としても成果を勝ち取りましょう。そして、若者の未来を支え持続可能な社会とするために、貧乏から給付へ、有利子から無利子へと、本来の奨学金への流れを確かなものにし、既存の返済困難者の実情に応じた救済措置や制度への改善、学費を含めた教育費負担の軽減につなげていきたいと思います。

いま、格差と貧困の拡大が世界中で大きな問題となつています。一部の者が富を独占し、中間層も分解され一極化が進行しています。加えて、異質なものを排除し、多様性を否定するような動き

も強まり、社会の分断と亀裂をもちつつあります。日本においても、あらゆる世代・層で格差・貧困が拡大し、孤立が広がっています。

今こそ、「連帯・協同」に価値を置く協同組合や労働組合が手を携えて真価を発揮し、分断社会を変えていかなければなりません。

中央労福協は引き続き、格差・貧困の是正に向けた政策・制度の改善をはじめ、誰もが排除されない社会に向けた生活困窮者自立支援制度の定着・発展や、働く人・地域の人たちの拠り所としてのライフサポート活動の深化・機能強化、協同事業や労働者福祉運動の基盤強化に取り組んでまいります。

「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」に向けて、ともに前進しましょう！

精算終了の最後までしっかりと取り組んでいきたいと思っておりますので変わらぬご理解・指導をお願い申し上げます。

十数年にわたり、ハミングの出るような明るい子育てが出来るような子育て支援を胸に、子育ての隙間だけではなく心の隙間を埋められるような暖かな活動を行うというふうな理念のもと、お助け会員のボランティアによる地道な努力と皆様のお支えにより子育て支援事業を重ねてきました。重ねて感謝申し上げますとともに、皆さまのご多幸をお祈り申しあげ新年の挨拶いたします。



最後までしっかりと取り組んでいきます！

NPO法人子育て支援グループ「ハミング」
理事長 小柳 光 廣

新年明けましておめでとうございます。旧年中は千葉県労福協をはじめ、連合千葉を中心とする労働組合、福祉事業団体の皆様にご支援を賜り心より御礼を申し上げます。

2002年7月に子育て支援を目的に千葉県労福協が市民との協同で設立した「ハミング」は

は、その歴史に幕を下ろす年を迎えました。昨年の第15回総会において、今後の進むべき道として「公的支援の充実強化やハミングちばの実態を踏まえ、子育て支援の一定の役割は終了したものと判断し、事業を終息していく」ことを確認し、終息に向け諸準備を進めてきました。解散総会を

本年もよろしく お願いいたします

(一社)千葉県労協役員

会長 黒河 悟 連合千葉

副会長 日高 英彦 中央労金
千葉県本部

副会長 細根 洋 全労済
千葉県本部

副会長 丸山 芳高 千葉県生協連

常務理事 小柳 光廣 千葉県労福協

理事 牧野 昌子 NPO法人「地域創造ネットワーク」ちば

理事 津崎 暁洋 野田地区労福協

理事 齋藤 政洋 連合千葉

理事 椎名 衛 連合千葉・自治
労千葉県本部

理事 保田 武利 連合千葉・U・A・セ
ン千葉県支部

理事 平野 盛士 連合千葉・
基幹労連

理事 小川 悟 連合千葉・
県私鉄

理事 清藤 昇 中央労金
千葉県本部

理事 中須磨吉盛 全労済
千葉県本部

監事 福島慎太郎 連合千葉・
電機連合

監事 川野 佳道 中央労金
千葉県本部

監事 八木 朗 全労済
千葉県本部

理事長 小柳 光廣
NPO法人「子育て支援グループ「ハミング」は



市川・浦安地区



会長 植木 誠

「働きがい」「働きやすい」を向上させるのが組合ですが、労協はそのような環境になれるようにサポートをするために、組合員と家族が心地よく楽しくそして笑顔がでるような催しとして、三番瀬の「潮干狩り」を開催します。

「アベノミクス」による格差と貧困の拡大。富裕層への富の集中、平均賃金の減少により中間層の疲弊、貧困層の拡大。この三つを少しでも正していくには、イベントを通じて、組合員との「意識の心合せ」「連携と交流」「協力一致」が必要です。

あけましておめでとうございます。本年も相変わりますようにお願いいたします。本年も組合の7月15日、第19回定期総会において、会長に就任いたしました植木です。小原前会長の意志を引き継ぎます。組合の原点は、「社会的弱者の救済」です。

安房地区



会長 三浦 徹

旧年中は、安房地区労協に対してしまして、安房地区だけでなく千葉県内の仲間の皆様には大変お世話になり、心より感謝申し上げます。昨年、安房地区労協では、久しぶりにボウリング大会を開催しました。会員相互の親睦を図るとともに、安房地区の労働者自主福祉運動

につなげられるように、一歩ずつ進んでいるところです。医療や介護、年金の問題、子どもの貧困や震災からの復興等、誰もが豊かに、幸せに暮らしていくためには解決しなければならぬ課題はたくさんあります。今年度も千葉県労協の事業と地区行事をリンクさせながら、安房地区の福利厚生事業の推進をめざし、できることから一歩ずつ歩みを進めていく所存です。皆様にとって本年が素晴らしい年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしく、お願いいたします。

銚子地区



会長 宮内 哲男

新年のご挨拶を申し上げます。昨年7月の総会で長らく務めた事務局長から会長に就任となりました。出身はヤマサ醤油労組OBとなりますが、微力ながらこれまで同様、ボランティア精神で労協協活動の一端を担ってまいります。ご指導とご支援を宜しくお願いいたします。

さて労協協活動の柱のひとつとなる労金と全労済の育成強化について特に触れてみますと、近年そのふたつの福祉事業団体と労働組合（勤労者）との関係を再構築する必要が叫ばれております。労金にしろ、全労済にしろ、その生みの親も育ての親も労働組合と労協であります。それぞれの生い立ちや歴史について再認識をはかり、連帯と協調の実現が求められております。労働組合と労協、そこに労金または全労済の三者が心を合わせ協力して三位一体となって難局を乗り切る活動の展開を常に心掛けてまいります。

匝瑳地区



会長 山崎 良夫

2017年 あけましておめでとうございます。昨年の匝瑳市勤労協は、12月22日に総会を開き、チエルノブイリと福島原発事故のドキュメント映画の企画と福島原発事故被災地の現地調査に取り組みことを決めました。今後、社会貢献活動としての清掃ボランティア活動を計画しています。

政府は雇用が改善したと言っていますが、増えたのは非正規労働者で、最低賃金の改善も先進国の中で一番低い方です。働く者の賃金引上げは地域経済（農業 中小企業）の活性化と表裏一体の関係にあります。昨年は、社会保障（介護・医療）分野の負担増や年金の削減が安倍政権により強行された。また、日本国民の食糧・医療・保険・金融などアメリカの多国籍企業に売り渡す批准の見込みもないTPP法案も強行可決、まじめに働く者を犠牲にした社会でいいのか？地域経済の低迷、貧困と格差の拡大、少子高齢化も深刻。働く者を大事にし、国民の生活安定、安心がつくれる社会・政治の実現が早急に求められています。

地区労福協

年頭のご挨拶

千葉市地区



会長 平野盛士

新年あけましておめでとございます。
 千葉市地区労福協は、県労福協や各地区労福協と連携し、地域福祉の向上をめざし取り組んでいます。今期も昨年5月の定期総会で確認された活動方針に基づき、諸活動を推進しており、具体的には、連合千葉中央地協との共催事業である「自然を守ろう！自然と親しむ会」や地区独自活動として「ボウリング大会」や「講演会」を毎年開催しています。
 また今年度は、新たな取り組みとして、「チャリティイチョゴ狩り大会」を計画しており、組合員として家族の皆さんに心から楽しんでもらえる企画となるよう、鋭意検討中です。
 今年も、構成組織の皆さんや地域の皆さんとともに、地域福祉の向上に向け、取り組んで参ります。
 本年が皆様にとって、「ゆたかで幸せな一年」となりますようご祈念するとともに、労福協運動に対する引き続きのご協力をお願いし、新年のご挨拶と致します。
 どうぞよろしくお願い致します。

長生・茂原地区



会長 中村正志

新年明けましておめでとございます。
 長生茂原労福協では、長生茂原地区に勤務または居住するすべての勤労市民とその家族のニーズのうちから、とりわけ、社会的・組織的に応えていくべき諸問題に力点を置き、地域福祉の向上をめざし活動を展開しております。
 昨年は、例年実施しておりましたチャリティが一定額となつたため、茂原市社会福祉協議会へ地域福祉充実のための機材を寄付させていただきました。各地域行事への貸し出しをメインとして活用することによって、喜びのお声を頂戴しております。ご協力いただきました皆さまに、この場をお借りして報告と御礼を申し上げます。
 また、本年は、毎年実施しておりましたチャリティゴルフ大会の代替え活動として、初の試みとなるチャリティバスツアーを2月に計画しております。家族そろって、多くの皆様に参加され、心身ともにリフレッシュのひとときとなることを期待しております。
 最後になりますが、本年が皆様にとって幸多き一年になりますようご祈念するとともに、長生茂原地区労福協への変わりぬぐ支援をお願いいたします。新年のあいさつさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

八千代地区



会長 後藤道宣

あけましておめでとございます。
 昨年は皆様に署名活動やアンケートにご協力していただきありがとうございました。
 政府は条件付きですが給付型の奨学金制度を始めます。私たちの活動が実ったと思えますがこれで満足しているわけではありません。一部の学生だけでなく希望する学生すべてが利用できないという意味がないと思えます。また学校が長期休みに入ると食べられない子供が多くいるということも忘れてはいけません。政府は少しずつ動いていますがまだまだです。地区労福協としては県労福協の方針を柱に活動していきますのでこれからもみなさまのご協力よろしくお願い致します。

野田地区



会長 津崎暁洋

新年のごあいさつを申し上げます。
 昨年の野田地区労働者福祉協議会は、勤労者バスハイク・ボウリング大会、将棋大会を開催し、多くの勤労者やその家族の皆様に参加いただきました。また、県労福との連携のもとフードドライブの活動についても大きく前進させることができました。
 労働組合が大切にならなければならない基本理念の一つである「助け合いの精神」を組合員と共有することも可能とするこの取り組みを本年も継続していきたいと考えています。
 勤労者を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いていますが、そんな時だからこそ私たち勤労者の連帯や連携が必要不可欠です。2016年も、勤労者はもとより地域に暮らす人々の多様な価値観やライフスタイルを尊重しながら、労働者のコミュニケーションアップを趣旨とした新機軸のイベント実施も含め、更に充実した活動の実現に向けて歩みを進めてまいります。
 本年もどうぞよろしくお願い致します。

第33回 チャリティゴルフ大会

開催される!!



個人の部 初優勝!!宇野沢勤さん



乾杯!

2016年10月31日(月)、真名カントリークラブで第33回千葉県勤労者チャリティゴルフ大会を秋晴れのもと、33組121名の働く仲間の方々が集い開催しました。

ナイスショットに珍プレーとなごやかに大会が進み、プレー終了後の待ち時間を活用しての「パターゲーム」では、飯田浩二(運輸労連)さん、和田尚胤(新東日本製糖労組)さん、野田泰造(電機連合)さん、斉藤豊(新京成労組)さん、鈴木満(新京成労組)さん



の5名の方が見事カップインを果たしました。表彰式も

多くの皆さんに参加頂き、盛り上がりの中で成績発表がされました。個人の部は宇野沢勤さんが初優勝され、団体の部はJAM東京千葉Aが優勝に輝きました。今回も多くの賞品を提供頂きました労働団体、福祉団体、関係企業等に厚く御礼申し上げます。また、参加者全員と入賞者の皆さんからのチャリティ募金は、19万7千円となりました。社会的な福祉運動を展開している団体等へ寄付いたします。紙面を借りて協力を頂きました皆さまに感謝申し上げます。



入賞おめでとうございます

個人賞

優勝	宇野沢 勤(基幹労連)	グロス98、HC 27.6、NET 70.4
準優勝	生川 満治(JAM東京千葉A)	グロス87、HC 15.6、NET 71.4
3位	飯田 浩二(運輸労連B)	グロス98、HC 26.4、NET 71.6
ベスト	村越 路行(市原市役所B)	スコア75

団体賞

優勝	JAM東京千葉A	NET 217.8
準優勝	新京成労組B	NET 218.6
3位	基幹労連	NET 221.2

その他、パターゲーム賞、ニアピン賞、ドラコン賞 他



ご協力ありがとうございます



政策・制度を 千葉県に要請する!!

千葉県労協は、政策活動として「千葉県予算に対する政策・制度の要請」を行っています。8月理事会で方針決定して以降、中央労協の政策、構成組織や連携団体からの政策要望等を受け止め議論を重ね10月の第21回理事で取りまとめを行いました。千葉県に対しては、11月11日（金）千葉県庁において会長、副会長、常務理事の4名で商工労働部雇用労働課へ要請書の提出と要請内容の説明を行いました。要請内容は全部で48項目となりました。

【平成29年度千葉県予算に対する要請内容】

- ①千葉県労働者福祉協議会についての要望、②連帯経済を促進する協同組合・協同組織の育成支援、③大規模災害等の被災者支援と復興・再生および災害対策、④労働者の生活安定に関する要請、⑤くらしの安全・安心について、⑥格差・貧困社会の是正、ナショナルミニマムの保障、セーフティネットの強化、⑦消費者行政の充実強化、⑧多重債務対策、⑨フードバンク活動の促進



2016年度 労働者自主福祉運動シンポジウム開催する!!

マイナンバー制度・ 2016年度 税務研修会



関口税理士

2016年12月8日（木）全労済千葉県本部会議室において千葉県労協「2016年度マイナンバー制度・税務研修会」を開催しました。昨年に引き続き例年行っている「労働組合に関わる税務」に加え「マイナンバー制度」についての研修を行いました。労働組合等から多くの皆さまの参加を頂きました。講師の関口税理士から、「労働組合等の会計税務に関わる実務マニュアル」と「社会保障・税番号（マイナンバー）制度の概要について」を、平成28年度の税制改正の概要（法人税・消費税関係）を交えながら分かりやすく講義して頂き、質疑応答を通し理解を深めました。また、研修会終了後には個別質問の時間を設け、多くの方に対して指導を頂き、熱の入った有意義な研修会となりました。

2016年11月26日（土）、ホテルポトプラザちばにおいて千葉県労協主催の「2016年度労働者自主福祉運動シンポジウム」を中央労金千葉県本部、全労済千葉県本部、連合千葉、中央労金労働千葉統括支部、全労済労組東日本総支部千葉支部、共催により開催しました。本シンポジウムは、中央労金労組、全労済労組の呼びかけにより2012年度から開始し節目となる5回目の開催となりました。シンポジウムは2部構成で、第1部では中央労協アドバイザーの高橋均氏による「歴史から学ぶ労働運動と労働者自主福祉運動の理念と歴史」の講演が行われました。第2部のパネルディスカッションでは「ともに運動する主体をめぐりて」各団体の連携と理念歴史の継承・人材の育成をテーマに、パネラーの連合千葉林田事務局長、東部ブロック福祉リーダー塾講師の中川氏（労金協会）、徳久氏（全労済東日本事業本部）、千葉県労協小柳常務理事、そしてコーディネーターの黒河会長、コメントーターの高橋均氏により進められました。理念と歴史を学び、それぞれの取り組みと課題を共有化し、今後の運動に向け意思合わせをするシンポジウムとなりました。



連合千葉第23回地方委員会を開催！

「女性役員選出に向けて前進！」

連合千葉は、2016年10月28日（金）にオークラ千葉ホテルにおいて、執行部、地方委員、特別地方委員、傍聴者を合わせ108名の参加のもと、「連合千葉第23回地方委員会」を開催しました。

今地方委員会は、議長に下山地方委員（情報労連）を選出し、議事運営を行いました。本年は、中間年であり、昨年確認されました第15回定期大会の運動方針に

基づき、補強する活動方針の提案となりました。質疑では、構成組織、地域協議会から様々な意見を頂戴しましたが、執行部答弁後に満場一致で「2017年度活動方針」、「2017年度予算」を確認しました。また、連合千葉第3次男女平等参画推進計画の推進に向け、各構成組織より第15期の執行部に女性役員を選出できる「連合千葉規約の一部改定」についての確認もしました。



下山議長（情報労連）

委員を終了後には、鈴木会長の音頭による団結ガンパローで成功裡に閉会しました。



団結ガンパロー

Working with Labour communities for a Better Tomorrow



中央ろうきんは ピンクリボン運動を 応援しています。

乳がんの早期発見・早期受診・早期治療の大切さを伝える「ピンクリボン運動」。中央ろうきんはその趣旨に賛同し、「お客さまに参加いただく社会貢献活動」として、2011年よりピンクリボン運動を応援しています。

ピンクリボン運動 寄付の対象となるお取引

次の①・②のお取引1件につき「1円」を、③のお取引1件につき「50円」を、中央ろうきんが公益財団法人日本対がん協会「乳がんをなくすほほえみ基金」に寄付いたします。

① 月10万円以上の給与・賞与振込
1件につき1円を寄付^(※1・2)

② インターネット/
モバイルバンキング(個人版)に
よるお振替・お振込・ご返済
1件につき1円を寄付

③ 女性向け積立預金
「Ruki[®]わたしの積立」の
新規ご契約
1件につき50円を寄付

寄付の対象となるお取引は、当金庫のシステムで判定可能なものに限らせていただきます。

※1 同じ月に10万円以上の給与・賞与振込が複数回あった場合、1件としてカウントします。※2 同じ月における複数回の給与振込を合算すると10万円以上となる場合、1件としてカウントします。



皆様のご誠意が

84,208,930円に!

(2016年8月末時点の寄付総額)

詳しくは中央ろうきんホームページで
<http://chuo.rokin.com>

中央ろうきん

検索

R あんしん製造バンク
ろうきん

2017年1月1日現在

<中央ろうきん> 千葉県本部 TEL : 04 3-251-5162

全労済千葉県本部主催 生活保障プランナー養成講座を開催

2016年12月3日（土）・10日（土）全労済千葉県本部6階会議室において、生活保障プランナー養成講座を開催しました。

生活保障プランナーは、2004年8月にスタートした全労済認定ライセンスです。労働組合の活動として、日常的に組合員から幅広い業務相談を受けている労働組合役員・書記の皆さまを対象として、生活保障設計の考え方や保障・金融関連知識の習得機会として講座を開催し、その修了者を「生活保障プランナー」資格者としています。

今回の養成講座には、9団体13名の方が参加し、組合員福祉の充実・相談業務の対応強化にむけてお役立ていただきました。



研修内容

【入門】全労済の歩みと生活保障設計運動

【単元1】社会保障の基礎知識

【単元2】生命保障の基礎知識

【単元3】損害保障の基礎知識

【単元4】税金の基礎知識

【単元5】金融商品の基礎知識



第27回千葉県協同組合フェスティバル

海と大地と くらしの祭典

11月6日(日曜日) 千葉ポートパーク



開会式 千葉県協同組合提携推進協議会の能城代表よりあいさつ

11月6日(日曜日)、千葉ポートパーク円形広場において「第27回千葉県協同組合フェスティバル～海と大地とくらしの祭典～」が開催されました。

このフェスティバルは、千葉県内の協同組合の交流を図り、また県民に「協同組合」をアピールすることを目的に毎年開催され、今年で第27回を迎えました。JA・漁協・森林組合・生協の4協同組合とNHK千葉放送局の主催団体および千葉県農林水産部、全労済千葉県本部、中央労働金庫千葉県本部、千葉県労働者福祉協議会、千葉県ユニセフ協会が出展参加しました。当日は、爽やかな秋晴れのもと、開会前より多くの参加者で賑わいました。

農協コーナーでは、県産青果物や鉢花の販売、焼き芋や県内落花生の試食販売の他、手作り農産加工品の販売など多彩な企画がおこなわれ千葉の農産物をア

ピールしました。

森林組合のコーナーでは、生椎茸・林産物・炭製品などの販売がおこなわれ、恒例の焼き椎茸の試食も好評でした。

漁協コーナーでは、海苔、水産加工品やあさりの味噌汁、サザエのつぼ焼き、さんま丸干し焼きなど好評でした。

NHKのコーナーでは、「食べ物パルーションショー」やNHKキャラクターふれあい広場、「挑戦！まめ運び競争」が開催されました。

生協コーナーでは、パルシステム千葉、コープみらい、生活クラブ生協、なのはな生協、全労済千葉県本部、中央労働金庫千葉県本部、千葉県労働者福祉協議会が実行委員会を組織して準備をすすめて

様々な企画を行い、どのコーナーも好評でした。

千葉県ユニセフ協会コーナーでは、地雷レプリカの展示やユニセフ支援品の展示、ユニセフ資料配布などがおこなわれました。

千葉県農林水産部コーナーでは、おにぎりのPR試食や県産農林水産物のPRなどがおこなわれました。

会場正面のステージでは、「動物戦隊ジュウオウジャー」ショーが子供たちの人気を集め、第1回から連続出演の「磯浜太鼓」の他、「手話ダンスもみじ」、「ママン・シーウインドピヨ」隊、「YOSAKOI連桜舞」、「花鳥風月」がフェスティバルの雰囲気盛り上げました。



ステージでは「動物戦隊ジュウオウジャーショー」やダンスなどで賑わいました



たくさんの来場者で会場は賑わいました(フアフア)



JA女性部による手作り農産加工品の展示販売



千葉県ユニセフ協会



なのはな生協



コープみらい



生活クラブ虹の街



パルシステム千葉



千葉県労働者福祉協議会、中央労金千葉県本部、全労済千葉県本部、3団体での輪投げ

中央労福協 第7回加盟団体 代表者会議開催される!!

中央労福協第7回加盟団体代表者会議が2016年11月25日(金)ホテルラングウッドにおいて2部構成で開催されました。第1部は記念講演で、「助けて」と言える社会へ持続可能な未来、貧困からの脱却に



神津会長



奥田知志氏

向けて「協同組合、労働組合への期待」と題して、NPO法人「抱樸」理事長、生活困窮者自立支援全国ネットワーク共同代表の奥田知志氏より講演がされました。格差・貧困問題に取り組んでいる全国の労福協の仲間から「心が洗われる内容だった」との声もあり、意義ある講演となりました。

第2部の加盟団体代表者会議では、神津会長から、「奨学金制度の改善」、「貧困・格差の是正・生活困窮者支援」、「労働者福祉運動と労働運動の連携協」の3点について挨拶がされ、議事においては「2016〜2017年度活動方針の中間総括と課題・補強(案)」をはじめ、全ての議案が満場一致で承認決定されました。また、特別アピール(案)「若者の未来を支える奨学金制度の改善と給付型奨学金制度を実現しよう!」についても満場一致で採択されました。2017年度の活動がスタートしました。

「奨学金制度の拡充を求める11.14市民集会」開催される!!



アピール呼びかけ人・大内中京大教授

2016年11月14日(月)18時、星陵会館ホールにおいて中央労福協と奨学金問題対策全国会議による「奨学金制度の拡充を求める11.14市民集会」が開催されました。集会は、中央労福協神津会長による開会

挨拶にはじまり、特別報告「給付型奨学金制度の検討状況について」を文部科学省高等教育局より受け、「各党からの挨拶、国会議員紹介」、「給付型奨学金制度の創設等を求めるアピールの呼びかけ人紹介と発言」、そしてリレートークを学生、返済当事者、学校現場、相談現場、労働組合等の方から奨学金改善に向けての発言がされました。その後、「アピール賛同状況の報告と行動提起」が黒河副会長からなされ、奨学金問題対策全国会議石重事務局長の閉会挨拶で終了し、奨学金問題改善に向けての大きなうねりをつくる市民集会となりました。



黒河副会長



神津会長

労働者福祉東部ブロック協議会

労働者福祉東部ブロック協議会は、1967年2月に前身の労働者福祉東ブロック協議会の結成から50周年の節目を迎え、2016年12月1日には、東京都「ホテルラングウッド」において第51回定期総会、50周年記念講演会、50周年記念祝賀会が開催されました。

第51回定期総会



閉会挨拶する山田事務局長次長



黒河会長



新役員挨拶

12月1日（木）13時より「孔雀の間」にて労働者福祉東部ブロック協議会第51回定期総会が構成団体1都10県

の地方労福協参加のもとで開催されました。総会議長に東京労福協の山本明氏が選出され、黒河会長挨拶にはじまり、開催地の東京労福協大野会長挨拶、来賓を代表し中央労福協花井事務局長による連帯挨拶がされました。黒河会長からはこの間の結成50周年や奨学金制度改善に向けた取り組み等への感謝と、日本の人口構造問題に触れ「私達の未来像について世代間対立を超えた再構築が必要」との指摘と、「ともに生きる社会づくりに向け、我々の運動をより一層進めていきたい」との挨拶

50周年記念講演会

第51回定期総会後の15時過ぎより「50周年記念講演会」が講師に中央労福協アドバイザーの高橋均氏を招き開催されました。高橋講師は、連合副事務局長、中央労福協事務局長を歴任され、東部ブロック協議会が40周年を契機にスタートした「福祉リーダー塾」の専任講師とし今日まで指導を頂いています。50周年の節目にあたり、労働者福祉運動の過去・未来・現在について、「戦前・戦後の労働運動、協同組合運動の歴史から見えてくるもの」と題し示唆に富んだ講演がされました。講演会には定期総会参加者に加え50周

がされました。議事では結成50周年に向け設置した「組織・財政検討委員会」の答申に基づく「規約等の改定（案）」を含め、全て満場一致で承認されました。役員改選においては、引き続き会長に黒河氏（千葉）が選出され、副会長に齋藤氏（新潟）、柏木氏（神奈川）、事務局長に須永氏（東京）、事務局次長に市川氏（神奈川）が選出され、黒河体制2期目がスタートしました。退任された小松前事務局長（栃木）、山田前事務局長（新潟）の永年のご努力に感謝申し上げます。



年祝賀会参加の役員OBの皆様も参加され盛大に開催されました。

50周年記念祝賀会

12月1日(木) 17時より、総会・講演会の隣室となる「丹頂の間」において東部ブロック結成「50周年記念祝賀



主催者挨拶 黒河会長

会」が、労働団体、福祉事業団体、福祉リーダー塾講師のご来賓、歴代三

役、功労者、そして定期総会参加者等、総勢87名が参加し盛大に開催されました。黒河会長挨拶の歴史に思いを馳せ感謝と今後への決意を込めた挨拶にはじまり、ご来賓を代表し中央労福協南部副会長、連合関東ブロック岡田会長、中央労働金庫松迫理事長、全労済東日本事業本部廣田本部長から連帯の挨拶があり、その後、功労者表彰が行われました。



功労者表彰

千葉県労協からは、岡田勝氏(元会長)、石田勉氏(元常務理事)、黒河悟氏(現会長)、小柳光廣氏(現常務理事)の4名が表彰を受けました。齋藤副会長の乾杯により歓談が進められ、歴代会長の岡田勝氏(千葉)、遠藤幸男氏(東京)と元事務局長の大森栄司氏(東京)から思い出を含め現役へのエールの挨拶があり、柏木副会長の閉会挨拶で祝賀会が盛況裡の中で終了しました。

千葉県労福協

連合千葉

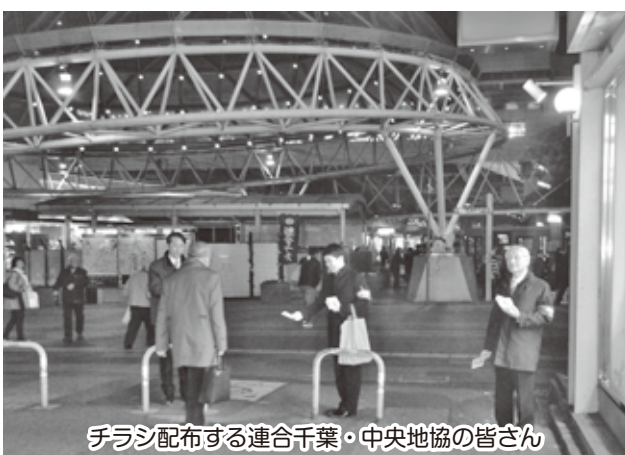
奨学金制度の拡充に向けた 駅頭アピール行動を展開!!

千葉県労福協では中央労福協の方針を踏まえ全国の仲間とともに2016年9月〜2017年5月にかけ第3ステージの取り組みを展開しています。この11月〜12月には、連合千葉及び各地域協議会の協力により駅頭アピール行動が県内18駅頭で展開されました。その最終行動として2016年12月12日(月) 18時からJR千葉駅頭において



訴える黒河会長

て連合千葉、連合千葉中央地域協議会、千葉県労福協による「奨学金制度の拡充に向けた駅頭アピール行動」を実施しました。連合千葉林田事務局長の進言により、連合千葉鈴木会長、千葉県労福協黒河会長から現状や課題、改善に向けた取り組み等の訴えがされ、80名を超える働く仲間と、連合千葉議員団会議の皆さんが集い、駅頭での訴えとチラシ配布が行われました。



チラシ配布する連合千葉・中央地協の皆さん

ネットワーク団体活動のご紹介

千葉県労協は、「地域創造ネットちば」、「協同労働の協同組合ネットワークちば」、「フードバンクちば」、「消費者行政充実ネットちば」、「貧困問題を考える懇談会」や「ひと・くらしサポートネットちば」等に参加し、市民との協同や幅広いネットワークで社会的課題に取り組んでいます。

この間の主な取り組みについて紹介・報告します。

「ちばユニバーサル農業フェスタ2016」開催される!!

2016年12月4日(日)、四街道市文化センター(広場・館内)において6回目となる「ちばユニバーサル農業フェスタ2016」が多くの市民の参加を頂き開催されました。

主催はちばユニバーサル農業フェスタ実行委員会ですが、千葉県労協



が加盟しているNPO法人地域創造ネットワークちばをはじめ多くの団体が実行委員会に参加し進められました。フェスタは、岡田勝さん(地域創造ネットワークちば理事長・千葉県労協顧問)の開会挨拶にはじまり、ステージプログラム、大きなテーブル(福祉施設紹介・販売フェア)、高校生・大学生ブース、園芸・栽培相談、出展団体対象の商談会、農業分野における「中

問的就労導入相談」、ワークショップ・体験イベント等々、様々な取り組みが行われました。

さまざまな人々が農業を通じて、出会い、交流し、はたらきあう、新しい農業のかたち「ユニバーサル



農業」の考えを広め、出会いの場を提供し、国内有数の農業生産県である千葉県から、「農業の持つ可能性」や「農の価値」をアピールしました。

当日は、天候に恵まれ、多くの出展者、来場者に参加し、家族連れで楽しめるイベントとなりました。参加団体は県内16市町と都内から60団体(福祉・作業所、農業事業所・会社、生協関連団体、NPO、地元四街道市の小学校・高等学校他)となり、3,200人の方々に来場いただき、「ユニバーサル農業」みんなで関わる「農業」について発信し、出展団体同士、出展団体と来場者が、情報交換し交流する場となりました。

フードバンクちばのPR活動を進める!!

千葉県労協は、「フードバンクちば」の活動紹介を、千葉県中央メーデー、千葉県協同組合フェスティバルに参加し実施しています。今年度はこれらに加えパルシステム千葉のご協力により2016年10月23日(日)野田市文化ホール等で開催されたパルシステム千葉「第41回生協まつり」へ「フードバンクちば」と一緒になって参加しフードドライブやフードバンクの活動紹介を実施しました。また、当日はパルシステム千葉よりフードバンクちばに対し寄付金が贈呈されました。





あけまして
おめでどうございませう。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

二〇一七年 元日

あなたと
わかちあう
次の一歩



ろうきんイメージモデル 高梨 臨

ZENROSAI NEWS

この安心を、
家族の成長とともに。

- 医療タイプ
- 医療安心タイプ
- 終身医療5000
- 総合タイプ
- 総合2倍タイプ
- 大型タイプ
- がん保障プラス
- 生きる安心タイプ
- 傷害安心タイプ
- シニア総合タイプ
- シニア医療タイプ
- シニア傷害安心タイプ
- キッズタイプ
- キッズワイドタイプ
- 長生きあんしんプラン

こくみん共済

個人定期生命共済・こども定期生命共済・高齢定期生命共済・傷害共済・個人賠償責任共済・健康生命共済・個人収入補償共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

